2013年4月26日

各　　位

会社名　ユニチカ株式会社
代表者名　代表取締役社長　安江　健治
（コード番号3103　東証・大証各第一部）
問合せ先　経営管理室長　杉澤　滋
（ＴＥＬ　06－6281－5695）

通期業績予想の修正、営業外収益（為替差益）・特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2012年10月31日に公表しております通期業績予想を下記のとおり修正するとともに、2013年3月期末において、営業外収益（為替差益）及び特別損失の計上、繰延税金資産の取崩しを行うこととしましたのでお知らせいたします。

記

1．2013年3月期連結業績予想の修正について（2012年4月1日～2013年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （2012年10月31日発表）	160,000	6,000	3,000	700	円　銭 1.21
今回修正予想（B）	160,000	5,500	3,500	△11,000	△19.08
増減額（B－A）	－	△500	+500	△11,700	－
増減率（%）	－	△8.3	16.7	－	－
（ご参考）前期実績 （2012年3月期）	174,662	9,579	5,753	1,297	2.35

修正の理由

通期業績につきましては、急激な円安ドル高への為替変動に伴う原燃料価格の高騰により、前回発表予想に比べて、営業利益は減少する見込みです。経常利益は為替差益を約11億円計上するため増加する見込みです。また、当期純利益につきましては、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行う予定のため、前回発表予想を下回る見込みです。

2. 営業外収益（為替差益）の計上について

当連結会計年度におきまして、急激な為替相場の変動により、連結決算で約 11 億円、個別決算で約 11 億円の為替差益を計上する見込みです。

3. 特別損失の計上について

① 事業構造改善費用　約 22 億円

2013 年 3 月 27 日に公表しました当社子会社である株式会社アイテックスの解散に伴う損失を約 12 億円、ユニチカスパークライト株式会社及びユニチカ設備技術株式会社の事業構造改善費用を約 10 億円、連結決算で計上する見込みです。

② 減損損失　約 48 億円

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社及び当社グループの保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、当社のビニロン事業に関わる固定資産、当社子会社のユニチカリアルティ株式会社及びユニチカバークシャー株式会社の固定資産などについて、連結決算で約 48 億円、個別決算で約 19 億円の減損損失を計上する見込みです。

③ 子会社の製品不具合の発生の対応に伴う損失　約 2 億円

2012 年 12 月 17 日に公表しました当社子会社であるユニチカ設備技術株式会社が販売しておりました機械式立体駐車装置の部品の不具合への対応に要する費用を連結決算で計上する見込みです。

4. 個別財務諸表における貸倒引当金繰入額の計上

当社の個別財務諸表におきまして、子会社の事業構造改善等に伴う貸倒引当金繰入額を約 31 億円計上する見込みです。貸倒引当金繰入額は、連結決算上消去され連結決算予想には影響ありません。

5. 繰延税金資産の取崩しについて

前記特別損失の計上を含め今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産につきまして 2013 年 3 月期末において、連結決算で約 47 億円を、個別決算で約 35 億円をそれぞれ取り崩し、法人税等調整額に計上する見込みです。

＜業績等の予想及び計画に関する注意事項＞

本資料における業績等の予想及び計画の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後の様々な要因により、業績等の予想及び計画と異なる可能性があります。

以　上